



2024.8.9

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

酷暑の夏休み

今年の夏は統計を開始した1898年以降の7月として、昨年の記録をさらに上回り、最も高くなったと気象庁が発表しました。8月も記録的な暑さが続いており、熱中症の危険度が高まっています。気象庁発表の1か月予報では、「平均気温より高い」予想で、暑さとの闘いが長期戦になるということです。

幼稚園での夏季保育は今日で終わり、明日からまた夏休みに入ります。1学期の終業式の日子どもたちに夏休みの5つの約束を伝えました。『①早寝・早起き・朝ごはん ②食べ過ぎ・飲み過ぎに気を付ける ③お手伝いをする ④交通事故に気を付ける ⑤知らない人についていかない』です。基本は規則正しい生活をする事で体調を整え、抵抗力のある体を作り、酷暑を乗り切るために、です。

実は熱中症予防対策とも重なっている部分があります。熱中症対策は『①水分をこまめにとる ②塩分をほどよくとる ③睡眠環境を快適に保つ ④丈夫な体をつくる』で、体力をつけるためには規則正しい生活を心がけることが基本となります。大人でもこの暑さはこたえますので、体温調節ができない乳幼児はもっと大変です。ご家族みんなで熱中症対策を心がけて、この暑い夏を乗り切ってくださいね。



暑い夏に熱い闘い

さて、連日パリオリンピックでの熱戦が伝えられています。日本選手の活躍はもちろんのこと、それぞれの国の皆さんは、母国の選手の応援に熱が入ると思います。選手の皆さんが金メダルを目指して必死で努力する姿に胸を熱くし、感動を頂いていることでしょう。私も時々、必死で応援するあまり、時間が経つのも忘れて次の日に寝不足で、なんてこともあります。金メダルに輝いた選手と同じ気持ちになって泣いたり、惜しくも敗れてしまって肩を落とす選手の姿に泣いたり（どちらにしても涙、涙・・・）。勝っても負けても全ての選手の頑張りに拍手を送りたいですね。

ところが残念なことに選手に対するSNSでの誹謗中傷が後を絶ちません。オリンピックを目指してどれだけ練習を積み重ね、どれほどのプレッシャーに耐えて試合に臨んでいるのか、我々素人には想像もできないのに、期待した結果で終われなかったからと言って、他人がとやかく批判する権利はないと思います。国を背負って必死で頑張っているのに、心無い言葉の暴力で選手の皆さんを傷つけないでほしい。いくら表現の自由と言っても、頑張っている選手への誹謗中傷は許されません。

トップに輝く選手は能力や技術だけでなく、精神的にも一流です。どの選手も名言を残していますが、今回のオリンピックで私個人として、特に心に刺さった名言を紹介します。3年前の東京大会（スケートボード）で金メダルを取った四十住さくら選手は、残念ながら今回は決勝進出を逃しました。その予選直後のインタビューで、「2連覇しようと思ってきたので、1,2,3の中にはいたかっただんですけど・・・。でも人の失敗は祈りたくないの。でも、決勝にはいきたいので、ちょっと変な気持ちになっちゃうんですけど、行けるように祈ります」と応えました。

この言葉に「さすが金メダリスト」「四十住選手『人の失敗は祈りたくないの』優勝です」「誇り高きspirit 武士だわ。金メダル」「フェアプレー精神を持った素晴らしい人柄だと思う」等々、他の選手へのリスペクトが素晴らしいとネットで感動の声があふれました。

8月12日まで、まだまだ熱い闘いが繰り広げられます。自分の国の選手はもちろんですが、全ての国の全ての選手の熱戦に、リスペクトの思いを抱きながら最後までエールと拍手を送りたいと思います。

